

「スマートICとは」

背景

- ◆ 我が国の高速道路におけるインターチェンジ（IC）の設置間隔は約 10km と、諸外国の約 4～5km に比べ 2 倍となっています。また、高速道路が通過する市町村のうち、約 3 割は IC が設置されておらず、追加 IC に対する地域からの要望も強くありました。
- ◆ 現状においても、追加 IC を整備する制度はあるものの、設置条件やコストの面で課題がありました。
- ◆ このような背景のもと国土交通省では、既存の高速道路の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジ（ETC 専用 IC）を導入することとしています。

スマートインターチェンジとは

- ◆ スマートインターチェンジ(スマートIC)は、高速道路の「本線」や「サービスエリア、パーキングエリア、バスストップ」から乗り降りができるように設置される IC であり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETC 車載器を搭載した車両に限定している IC です。
- ◆ 利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

本線直結型とは

- ◆ スマートICのうち、高速道路本線へ直接アクセス路を接続させるものです。
- ◆ サービスエリア・パーキングエリアの存在しない箇所に設置することができます。



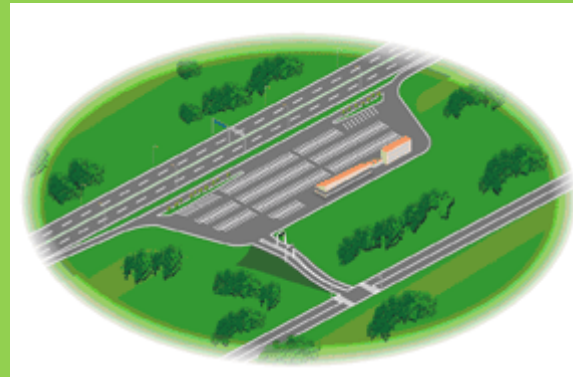
本線直結型イメージ図



水戸北スマートIC(常磐自動車道)

SA・PA接続型とは

- ◆ 高速道路との接続箇所が、サービスエリア・パーキングエリアであるものです。
- ◆ 既存の施設を活用することにより、比較的容易にアクセス路を確保することができます。



SA・PA 接続型イメージ図

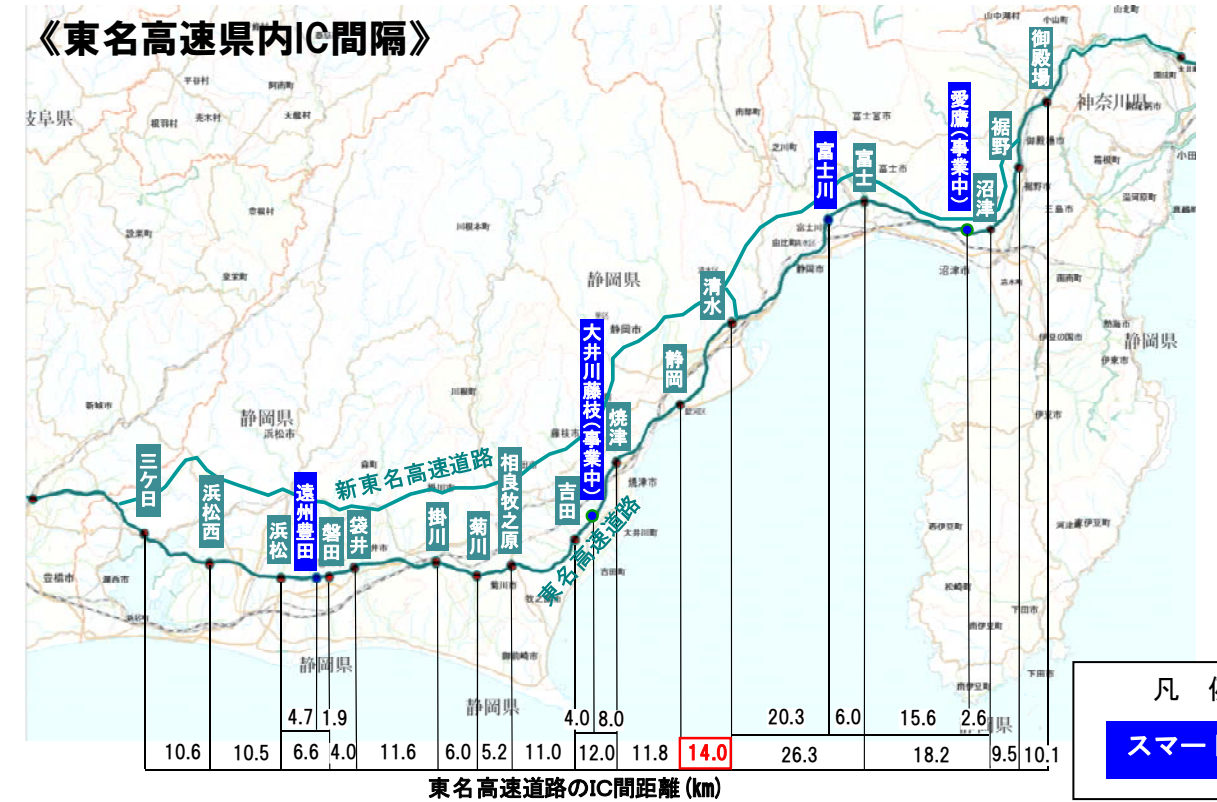


三芳スマートIC(関越自動車道)

「スマートICの必要性」

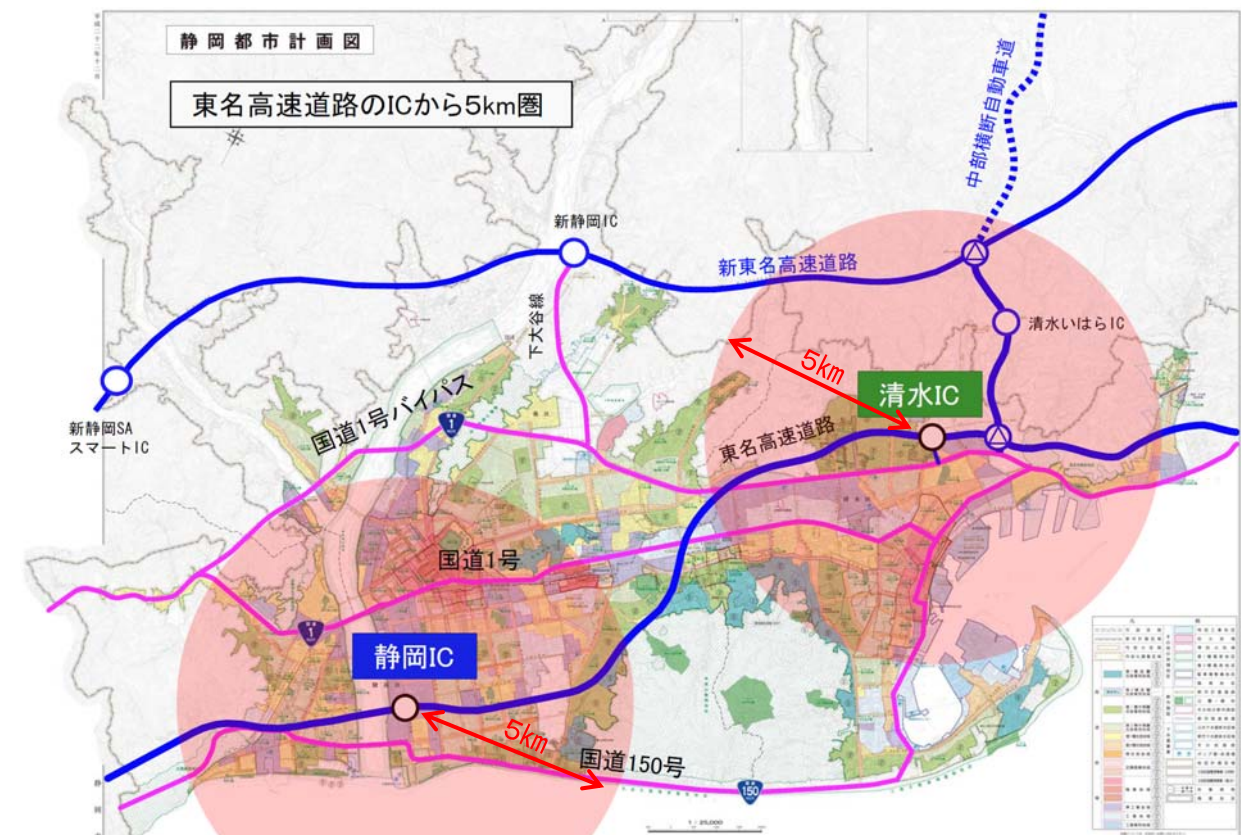
- 日本の高速道路の平均 IC 間隔は約 10km と、諸外国の IC 間隔（4～5km）の約 2 倍です。
- 東名高速道路の静岡 IC～清水 IC 間は IC 間が 14.0km と長くなっています。

《東名高速県内IC間隔》



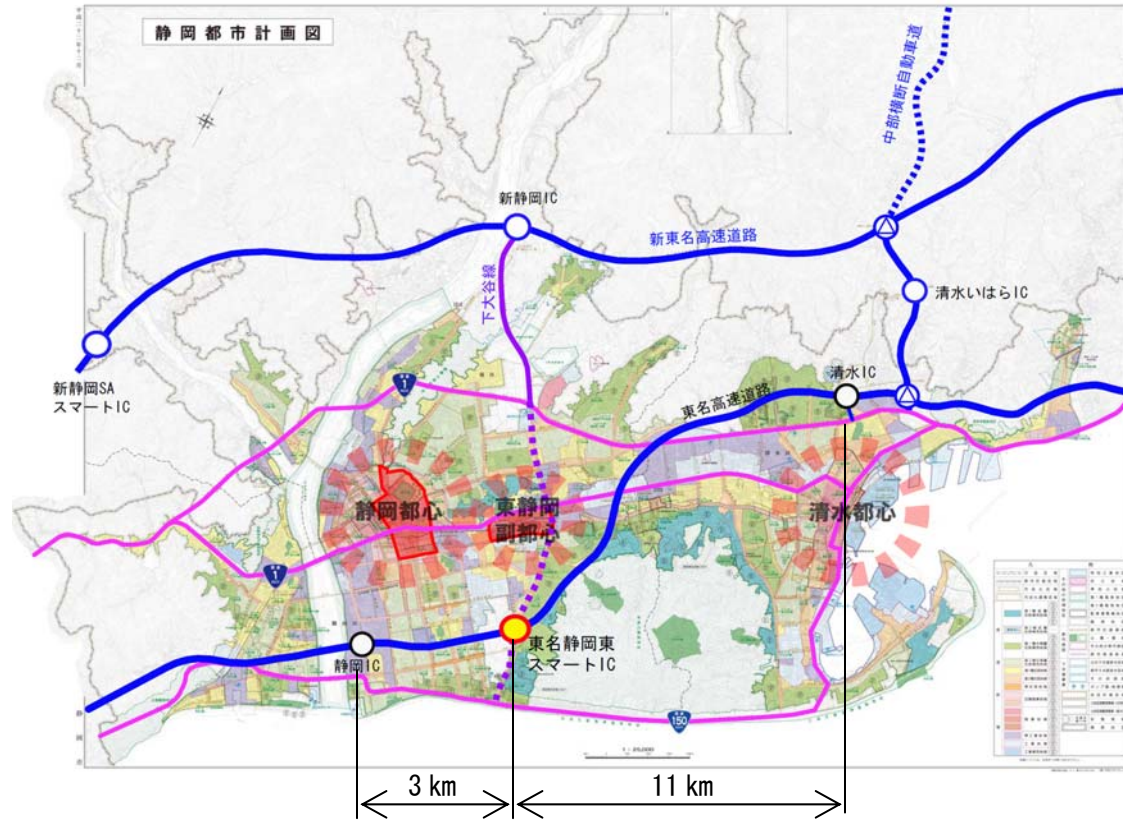
凡例
スマートIC

- 静岡市内には、東名高速道路静岡 IC からの 5km 圏にも、清水 IC からの 5km 圏にも入らない高速道路の利便性の低い地域があります。



「東名静岡東スマートICの概要」

(路線名) 第一東海自動車道(東名高速道路) 【現在検討中】
 (連結位置) 静岡県静岡市 都市計画道路 広野大谷線(トランペット案)
 都市計画道路 広野大谷線及び宮前大谷線(不完全クローバ案)

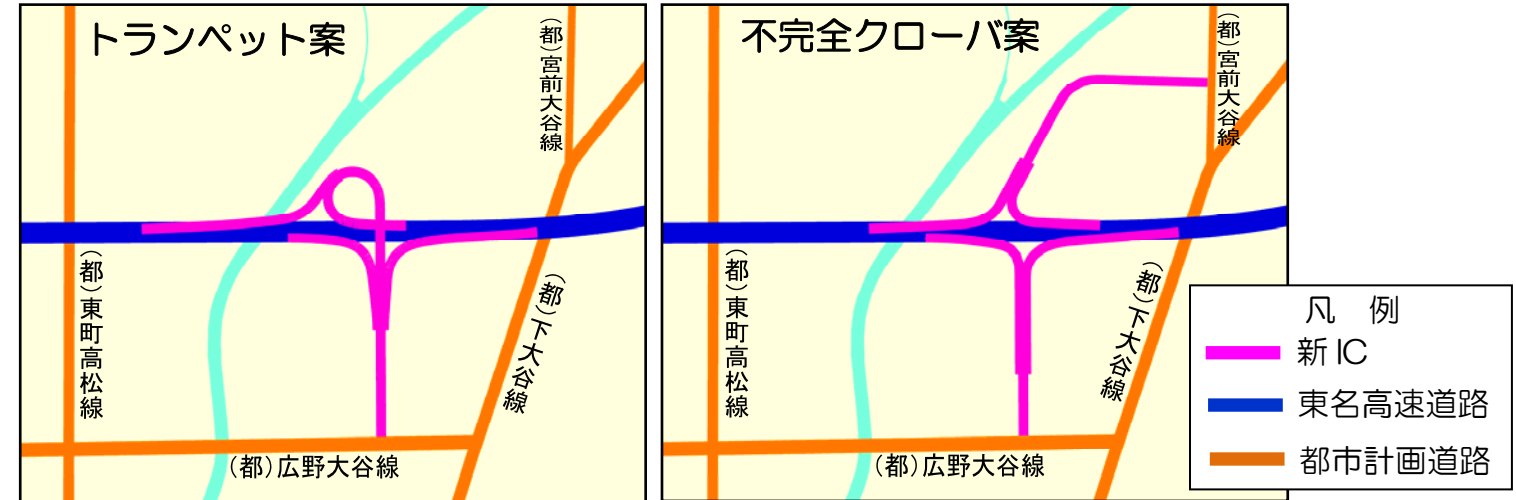


運用形態	フルインター形式
利用方向	IN : 東京方面上り線、名古屋方面下り線 OUT : 東京方面上り線、名古屋方面下り線
運用時間	24時間
対応車種	ETC 車載器を搭載した全車種(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車を想定) ※通行可能対象車種長 : L=16.5m以下



※IC名は仮称であり、今後、地区協議会において決定するものです。

「現在検討しているIC形式」



「検討経緯と今後のスケジュール」

